

2021年2月8日

血

液

内

科

だ

よ

り

がん患者リハビリテーション

近年、がんの死亡率は年々減少傾向で「がんと共存する時代」となり、がん自体に対する治療のみでなく、療養生活の質の維持向上が重要視されるようになりました。病気や治療により身体に生じる様々な障害や後遺症の予防や改善を目的に、2010年度よりがん患者に対するリハビリテーションの提供が可能となり、また、直近のがん罹患率や治療選択肢の多様化等の実態を踏まえ、リハビリテーションの対象となる患者の要件の見直しがあり、2020年4月より、より多くの方へリハビリテーションの提供が可能となっています。

退院後を見据え、入院中から無理のない範囲で運動しましょう



《がん患者リハビリテーションの対象となる方》

1. がん患者であって、がんの治療のために入院している間に手術、化学療法、放射線治療もしくは造血幹細胞移植が行われる予定のもの又は行われたもの
2. がんの患者であって、症状の増悪により入院している間に在宅復帰を目的としたリハビリテーションが必要なもの

治療のための入院であれば、治療前よりリハビリテーションの提供が可能です。

退院後の生活に向けて筋力や体力などの運動面で不安がある方は、お気軽に医療スタッフへご相談ください。

